



平成 29 年 11 月 7 日

各 位

上 場 会 社 名 株 式 会 社 博 展
 (コード番号：2173 東証 J A S D A Q)
 本 社 所 在 地 東京都中央区築地一丁目 13 番 14 号
 代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 田 口 徳 久
 問 合 せ 先 取 締 役 経 営 本 部 長 田 中 雅 樹
 電 話 番 号 0 3 (6 2 7 8) 0 0 1 0

第 2 四半期（累計）業績予想と実績値の差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 5 月 11 日に公表しました平成 30 年 3 月期第 2 四半期（累計）業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成 30 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値と実績値の差異

（平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	4,200	△230	△233	△180	△46 円 69 銭
実績値（B）	4,891	107	106	59	15 円 36 銭
増減額（B－A）	691	337	339	239	
増減率（％）	16.5	—	—	—	
（ご参考）前期実績 （平成 29 年 3 月期第 2 四半期）	3,977	△245	△250	△184	△48 円 26 銭

平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	10,100	150	140	90	23 円 35 銭
今回発表予想（B）	10,600	300	280	180	46 円 69 銭
増減額（B－A）	500	150	140	90	
増減率（％）	5.0	100.0	100.0	100.0	
（ご参考）前期実績 （平成 29 年 3 月期）	9,268	△253	△262	△369	△96 円 29 銭

NEWS RELEASE

平成 30 年 3 月期第 2 四半期（累計）個別業績予想数値と実績値の差異
（平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	3,850	△120	△123	△85	△22 円 05 銭
実績値（B）	4,496	170	172	117	30 円 43 銭
増減額（B－A）	646	290	295	202	
増減率（％）	16.8	—	—	—	
（ご参考）前期実績 （平成 29 年 3 月期第 2 四半期）	3,687	△81	△86	△62	△16 円 43 銭

平成 30 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	9,200	200	190	130	33 円 72 銭
今回発表予想（B）	9,650	400	380	260	67 円 44 銭
増減額（B－A）	450	200	190	130	
増減率（％）	4.9	100.0	100.0	100.0	
（ご参考）前期実績 （平成 29 年 3 月期）	8,601	14	7	△251	△65 円 49 銭

差異および修正の理由

（1）平成 30 年 3 月期第 2 四半期（累計）業績予想数値と実績値の差異について

当社グループの平成 30 年 3 月期第 2 四半期（累計）業績につきましては、展示会出展における受注件数の増加、イベントプロモーションや商環境における大型案件の受注による顧客単価の増加等により、売上高は前回発表予想を上回る結果となりました。

営業利益以下、各区分利益につきましては、前述の要因により売上高が増加したことに加え、プロジェクト毎の利益確保に注力すべく、採算性を重視した業務オペレーションを厳格に実行したこと、販売費及び一般管理費を前年並みの水準に維持すべく、コスト管理の徹底に取り組んだこと等により、前回発表予想を上回る結果となりました。

（2）平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正について

当社グループの平成 30 年 3 月期通期連結業績予想につきましては、繁忙期である第 4 四半期の受注状況は現時点において若干の不透明感があること、特にロボティクス分野においてはテストマーケティングに想定以上の期間がかかる見通しである一方、前述のとおり、第 2 四半期累計期間までの経営成績は前回業績予想を上回り好調に推移し、リアル領域において下半期も受注活動は順調に進捗していることから、売上高について前回発表予想を上方修正いたします。

また、顧客ニーズにマッチした商品開発等、先行投資を積極的に行っていくものの、引き続きプロジェクト毎の利益確保とコスト管理の徹底に取り組むことから、営業利益以下、各区分利益においても前回発表予想を上方修正いたします。

なお、配当予想につきましては、前回予想（期末 14 円）から変更いたしておりません。

NEWS RELEASE

(注) 本資料の掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上